

2016年5月現在



HONDA R565M

補修塗装工程

クロマックス® プロベースコート

ボカシ塗装

Cromax® Pro
BASECOAT

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

HONDA R565M 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



ブレンダー塗装



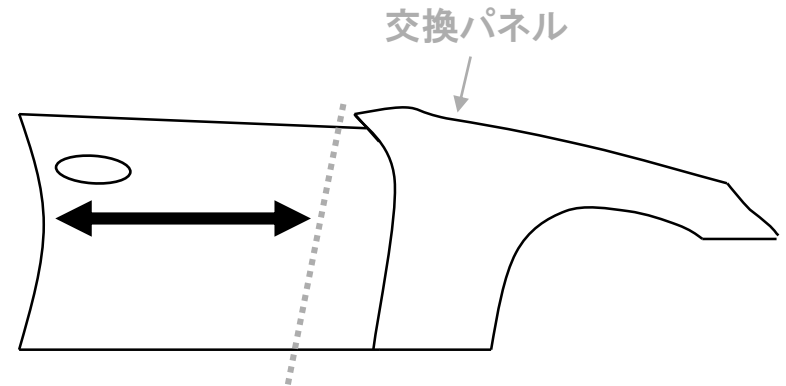
ブレンダー：コントローラー = 100：0～30



エア圧：2.0バール 口径：1.2-1.4mm
ガン距離：10-20cm、パターン重ね：70%
ミディアムウェットコートで薄く均一に1コート塗装
・パネルエッジは厚く塗装しない



ブレンダー塗装後はフラッシュしない
続けてベースコート塗装



注意：・必要に応じて、ボカシ塗装を行う隣接パネルをマスキングし、交換パネルをブロック塗装
マスキングを剥がした後、ブレンダーを塗装する

HONDA R565M 補修塗装工程

クロマックス®プロ ベースコート 塗装



ベースコート塗装



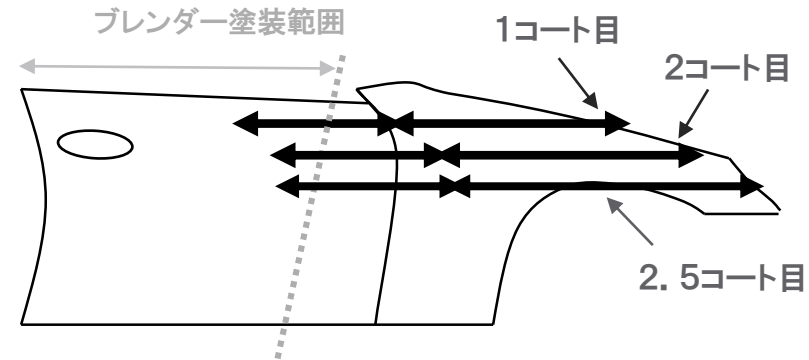
クロマックス®プロベースコート R565M
コントローラー: 20~30%
(WB2040コントローラー使用の場合のみ
最大50%迄混合可能)



エア圧: 1.6~1.8バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 10-15cm、パターン重ね: 70%
1コート目はミディアムコートでボカシ最終範囲まで塗装
2コート目は1コート目の内側にミディアムコート塗装
最終2.5コート目は距離を離しゆっくりとライトコートで塗装



コート間フラッシュタイム: なし
最終フラッシュタイム: 完全に艶が無くなるまで



- 注意:
- ・ブロー乾燥後 色決め部分とボカシ際部分とで色差がある場合は、その箇所をエア圧を落としてライトコートで修正する
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する
 - ・補修箇所は必ずバリューシェードシステムを使用
 - ・オーバースプレーを避けること
 - ・トリガーは常に握って塗装すること

HONDA R565M 補修塗装工程

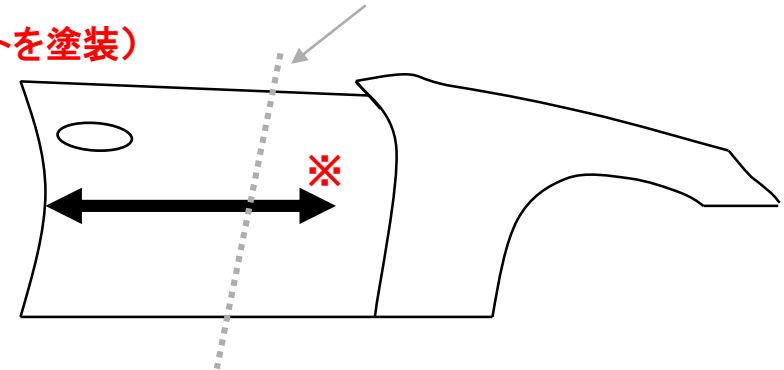
クロマックス® プロ ベースコート 塗装



クリアーコート塗装 ①

(カラークリアーコート塗装の前に通常のクリアーコートを塗装)

ベースコートボカシ際



クロマックス® クリアーコート
混合比は各クリアーTDS参照



エアー圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
ボカシ部分の外側からベースコートボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装



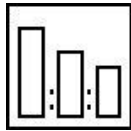
コート間フラッシュタイム: なし

※重要: クリアーコート塗装はベースコートボカシ範囲を超えて均一に塗装し、次に塗装するカラークリアーの肌が平滑になるように注意する

HONDA R565M 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



カラークリヤーコート塗装 (カラークリヤーはクリヤーコートと同じクリヤー使用)



クロマックス® R565Mカラークリヤーコート
混合比は各クリヤーTDS参照



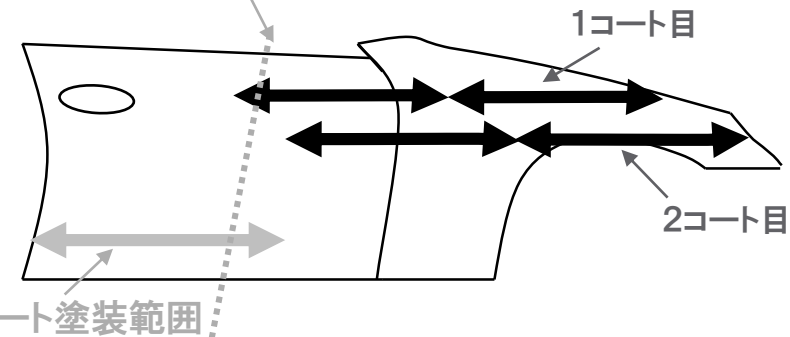
エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側からベースボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装
2コート目は1コート目の内側にボカシ塗装
トリガーは常に握り ボカシ部に向けて弧を描くように塗装



コート間フラッシュタイム: 各クリヤーTDS参照

- 注意:**
- ・カラークリヤーのムラが発生し易い為、ガン距離を余り近づけて塗装しない
 - ・次に塗装するクリヤーコートの肌が平滑になるように、カラークリヤー2コート目塗装後のフラッシュタイムは取らない

ベースコートボカシ際



HONDA R565M 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



クリヤーコート塗装②

(カラークリヤーのボカシ箇所をクリヤーにて均一に
馴染ませ肌を平滑にする。)



クロマックス® クリヤーコート
混合比は各クリヤーTDS参照



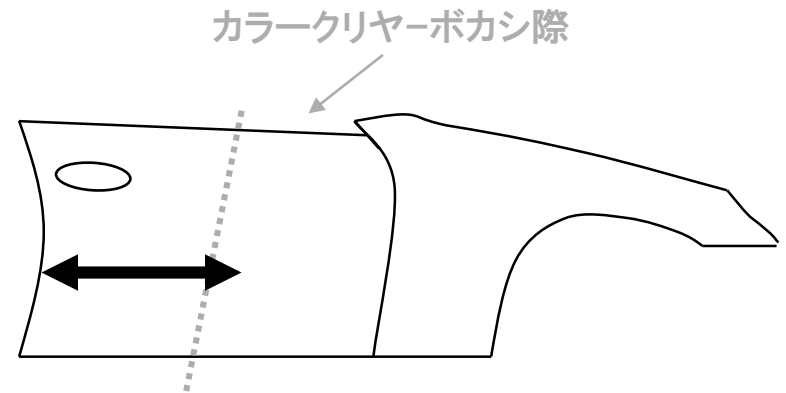
エア圧：2バール 口径：1.2-1.4mm
ガン距離：15-20cm、パターン重ね：70%
ボカシ部分の外側からカラークリヤーボカシ部を馴染ませる様に1コートボカシ塗装



最終フラッシュタイム：各クリヤーTDS参照



乾燥：
各クリヤーのTDS参照

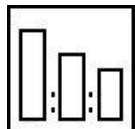


- 注意：
- ・カラークリヤーボカシ部と完全に馴染む範囲まで塗装する
 - ・乾燥後は、P1500相当で軽くサンディングを行うこと
(カラークリヤー部の色味が変化する為、必要以上にサンディングしないこと)

HONDA R565M 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



クリアーコート塗装（パネル全体に塗装）



クロマックス® クリアーコート
混合比はクリアーTDS参照



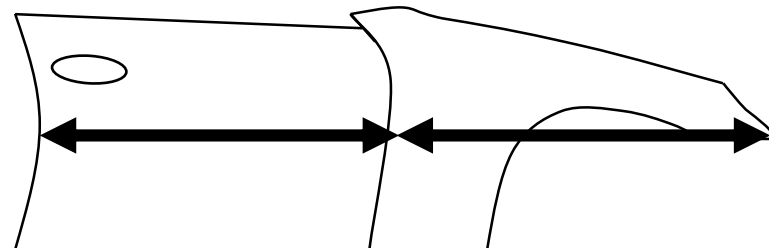
エア圧：2バール 口径：1.2-1.4mm
ガン距離：15-20cm、パターン重ね：70%
パネル全体に1コート塗装



最終フラッシュタイム：TDS参照



乾燥：TDS参照

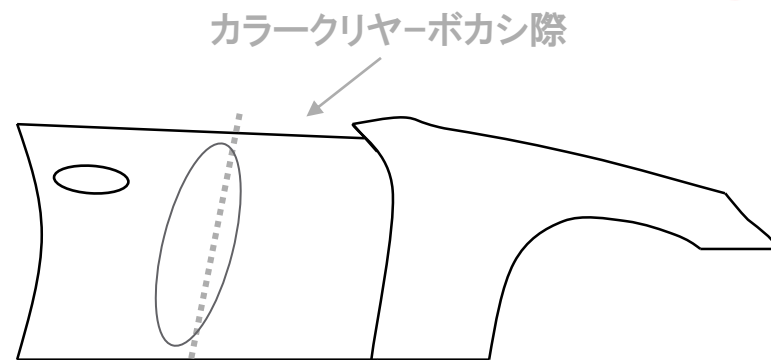


注意：・最終フラッシュタイムは十分にとること

HONDA R565M 補修塗装工程 クロマックス® プロ ベースコート 塗装



クリアーコート塗装(オプション)



カラークリアー塗装(2コート目)までは同じ手順。カラークリアー2コート目塗装後、直ちにAK350をボカシ箇所へ軽く塗装を行いミストを馴染ませる。十分なフラッシュを取った後、クリアーをミディアムウェットコートでパネル全体に塗装。



(注意)オプションのクリアー塗装を行った場合、通常よりも膜厚が厚くなる為、フラッシュタイム・乾燥時間共に長く取る事。



乾燥：
各クリアーのTDS参照

SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

